





# 春先は水痘や流行性耳下腺炎にご注意ください！

春先は水痘や流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の患者発生率が、前年の同時期と比べて増加しているという報道が相次いでいます。水痘および流行性耳下腺炎は、咳やくしゃみの際に出る飛沫などの呼吸器分泌物を通じて感染するウイルス性の感染症です。保育園では、毎日の登・降園時に、水痘や流行性耳下腺炎の予防のため、乳幼児の健康状態を注意深く観察しています。咳、発熱、食欲低下、目の充血、下痢、発疹、嘔吐などの症状が見られる場合には、感染症対策の指針に基づいて対応しています。ご家庭におかれましても、疾病の概要をご参考のうえ、予防と適切な管理に努めていただき、乳幼児の健康にご留意ください。感染が疑われる場合には、お近くの医療機関を受診されるようお願いいたします。

## 水痘および流行性耳下腺炎の概要

区分	水痘	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
定義	水痘ウイルスの感染による急性発疹性の感染症	ウイルス感染による耳下腺の腫脹を特徴とする急性発熱性疾患
伝染期	発疹の1~2日前から すべての水疱がかさぶたになるまで	発症の3日前から発症後5日まで
主な症状	発疹の出現1~2日前から倦怠感や微熱を伴い 斑点 → 水疱 → かさぶた の順に進行	発熱、頭痛、筋肉痛、嘔吐などの症状の後、耳下腺や 顎下腺などに炎症が生じる
管理方法	感染期は隔離（登園停止）を推奨し、皮膚の病変が消失するまで隔離	耳下腺炎の発症後5日間は隔離
予防接種	生後12~15か月に 水痘ワクチンを1回接種	生後12~15か月および4~6歳で MMRワクチンを2回接種

## 水痘および流行性耳下腺炎の予防対策

-  咳やくしゃみをする際は、手ではなくティッシュや衣服の袖で口と鼻を覆うなど、咳エチケットを守りましょう。
-  石けんを使い、流水で30秒以上しっかりと手洗いを行いましょう。
-  疑わしい症状がある場合は、速やかに医療機関を受診し、感染期間中は登園を控えてください。
-  外部の方と接触する際は、必ずマスクを着用しましょう（医薬品医療機器等法で承認されたマスクを使用し、KF80以上の着用を優先的に推奨します）。

## 手をしっかりこすろう：正しい手洗い6ステップ

#呼吸器疾患20%減少 #下痢性疾患30%減少

